

# 船舶事故調査報告書

平成28年5月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 事故種類                             | 衝突（岸壁）   |
| 発生日時                             | 平成28年1月26日 16時58分ごろ  |
| 発生場所                             | 秋田県秋田船川港秋田区第1区<br>秋田旧南防波堤灯台から真方位124°1,920m付近<br>（概位 北緯39°45.0′ 東経140°03.5′）  |
| 事故の概要                            | 貨物船PRIMORSK LESPROMは、着岸作業中、風に圧流されて岸壁に衝突した。<br>PRIMORSK LESPROM は、左舷船首部に破口等を、岸壁は、コンクリートに損壊を生じた。   |
| 事故調査の経過                          | 平成28年1月27日、調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名<br>原因関係者から意見聴取実施済み   |
| 事実情報<br>船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等 | 貨物船 PRIMORSK LESPROM（ロシア連邦籍）、2,992トン<br>8881931（IMO番号）、LESPROM-NAKHODKA JSC  |
| 乗組員等に関する情報                       | 船長（ロシア連邦籍）、船長免状（ロシア連邦発給）   |
| 負傷者                              | なし   |
| 損傷                               | 本船 左舷船首部に破口等<br>岸壁 コンクリートに損壊   |
| 気象・海象                            | 気象：天気 曇り、風向 南南東、風速 約12m/s、視界 良好<br>海象：波高 約0.3～0.5m<br>日没時刻：16時51分ごろ<br>秋田県秋田市には、16時30分に強風、波浪、雷及び濃霧注意報が発表され、本事故時も継続していた。  |
| 事故の経過                            | 本船は、東南東方から約6～8m/sの風を受ける状況下、秋田船川港秋田区第1区の向浜10m岸壁（以下「本件岸壁」という。）の東方に至り、本件岸壁に出船左舷着けするため、右舷主機を半速力後進にかけ、右舵30°～35°として右回頭中、南南東方から約12m/sの風を受けて同岸壁方向に圧流された。<br>本船は、両舷主機を全速力後進にかけ、更に右舷錨を投入したが、左舷船首部が本件岸壁に衝突した。 |
| 分析                               | 本船は、強風注意報が発表されている状況下、本件岸壁に左舷着けする目的で右回頭中、約12m/sの南南東風に圧流されたことから、左舷船首部が岸壁に衝突したものと考えられる。   |
| 原因                               | 本事故は、夜間、本船が、強風注意報が発表されている状況下、本件岸壁に左舷着けする目的で右回頭中、約12m/sの南南東風に圧流されたため、本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考   |

|           |   |
|-----------|---|
|           | えられる。   |
| <b>参考</b> | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 強風下で離着岸作業を行う際には、タグボートを適宜使用することが望ましい。</li></ul> |